

目からウロコのピアノ奏法

～どんなに努力してもうまくいかないと悩んでいる人のために～

【全3回】

一流の演奏家が、難しいパッセージをいとも簡単に演奏しているのは、彼らが天才だから？

それとも練習量が半端じゃないから？

もちろん、彼らは優れた運動能力とバランスのとれた柔軟な手指を持っているに違いありません。でも、そんな並外れた能力を持ち合わせていない人でも、弾き方を見直すだけで、あきらめていたテクニックをものにする事ができるようになります。また、拍感やリズム感、和声感に苦手意識がある人は、日本人特有な音の聴き方のクセがあり、そのクセが邪魔していることが実に多いのです。

音のとらえ方、聴き方を変えれば、苦手だった拍感、リズム感、ハーモニー感は、得意なものに変わります。

第1回 西洋人と日本人の身体の使い方の違いを知ろう(第1章に対応)

日時：2018年6月15日(金) 10:00～12:00

第2回 弱い指は、鍛える前に使い方を見直そう(第2章に対応)

日時：2018年7月20日(金) 10:00～12:00

第3回 西洋人と日本人の拍の捉え方の違いとは？ハーモニーの聴き方のコツとは？(第3,4章に対応)

日時：2018年9月7日(金) 10:00～12:00

全3回 講座内容の詳細は裏面を参照ください。

●会場：(株)ヤマハミュージックリテイリング 横浜店B1F music HARBOR

〒220-0005 横浜市西区南幸2-5-9 ヤマハビル地下1F

●受講料：お問い合わせください。



講師：馬場 マサヨ プロフィール

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。第31回全日本学生音楽コンクール西日本大会 高校の部 第2位。第53回読売新人演奏会(東京)に藝大生代表として出演。第1回 ウィーン音楽コンクール イン ジャパン第1位入賞。これまでに、NHK交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等のオーケストラと共演。室内楽の分野では、チェコフィル六重奏団、シュトゥットガルト・ソリストンとも共演。親しみやすいレクチャーコンサートや、親と子の名曲コンサートなどを全国各地で行う。

著書に「目からウロコのピアノ奏法～オクターブ・連打・トリル・重音も即克服～」(ヤマハミュージックメディア刊)がある。現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科教授、PTNA正会員。

キ リ ト リ セ ン

馬場 マサヨ先生「目からウロコのピアノ奏法【3回講座】」申込書

2018年6月15日(金)・7月20日(金)・9月7日(金)

馬場 マサヨ

目からウロコのピアノ奏法 【3回講座】

～どんなに努力してもうまくいかない
悩んでいる人のために～

申込書

株ヤマハミュージックリテイリング 横浜店2F鍵盤・楽譜売場(Fax.045-313-4687)行き 申込日 月 日

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
受講	<input type="checkbox"/> 全3回通し	<input type="checkbox"/> 第1回 6/15(金)	<input type="checkbox"/> 第2回 7/20(金) <input type="checkbox"/> 第3回 9/7(金)
種別	・一般 ・会員(ピアノ指導者の会・YMメンバーズ・jet・PSTA・PTNA)		

*ご記入頂いたお客様の個人情報はこの講座の控えとしてのみ利用いたします。
本講座に関わる開催報告などのため、講座の様様(客席は後方からのみ)を撮影した写真をブログに掲載させていただきます。予めご了承くださいませ。

目からウロコのピアノ奏法【3回講座】

～どんなに努力してもうまくいかないと悩んでいる人のために～

講師 馬場 マサヨ先生

第1回 西洋人と日本人の身体の使い方の違いを知ろう

(第1章に対応)

ここで問題にするのは体格の違いではありません。身体の使い方の違いがあるのです。西洋の楽器であるピアノを弾きこなすには、西洋人の身体の使い方をよく理解して演奏した方が効率的です。日本人の動きと西洋人の動きを分析し、腕の使い方を見つめ直します。そして、日本人の苦手な動きを自然に身につけるトレーニング方法を教えます。

第2回 弱い指は、鍛える前に使い方を見直そう

(第2章に対応)

指の独立のためと思って行っている練習が、無駄な力を入れる練習になっていませんか？指はやみくもに鍛えようとしてもうまくいきません。どの関節をどのように動かすことが効率の良い打鍵につながるのか、拡大版手製の「指の模型」を使ってわかりやすく解説します。1指5指の合理的な使い方もお伝えします。

第3回 西洋人と日本人の拍の捉え方の違いとは？ ハーモニーの聴き方のコツとは？

(第3、4章に対応)

拍というものをどうとらえるか、ハーモニーの表現とは何かについて考えます。そして拍感、リズム感、ハーモニー感を身に付けるトレーニング方法を伝授します。また、ピアノの鍵盤の扱い方に視点を移し、トリル、連打などの早い打鍵や繊細な打鍵が上手くできるコツもお話しします。

●使用テキスト：「目からウロコのピアノ奏法

～オクターブ・連打・トリル・重音も即克服～

(注文番号：GTP01088676 定価 [本体1,300円+税])

参考テキスト：「目からウロコのピアノ指導法」

(注文番号：GTP01091970 定価 [本体1,500円+税])

※テキストは当日会場でも販売いたします。



※お問い合わせ・お申し込み

(株)ヤマハミュージックリテイリング
横浜店 2F鍵盤楽器・楽譜売場

〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸2-5-9

TEL: 045-311-1202 FAX: 045-313-4687

URL: <https://www.yamahamusic.jp/shop/yokohama.html>

